

平成 28 年度日本語学校教育研究大会 日程

日 程 : プレセッション 平成 28 年 8 月 22 日(月)
 大 会 平成 28 年 8 月 23 日(火)、24 日(水)
 会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター
 テーマ : 新しい日本語学校教育の質のかたち —これからの教員を考える—

プレセッション 8 月 22 日(月)

センター棟 101 室、102 室

10:30~16:30	「日本語教育 e-learning 展示会」及び「日本語教育教材展示会」
-------------	--------------------------------------

大会1日目 8 月 23 日(火)

カルチャー棟 小ホール

10:00~10:30	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 佐藤次郎 文部科学省 大会趣旨説明 大会委員長 田中眞一 (大阪 YMCA 国際専門学校/大阪 YMCA 学院)
10:30~12:00	基調講演「日本語教師はもういない?—教育環境の変化と求められる教師像—」 今井 新悟(筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター)

12:00~14:00 昼休憩

ポスター発表・デモンストレーション

カルチャー棟 展示コーナー

12:00~14:00	日本語ポートフォリオからライフデザインへ 折笠友美((学)文際学園日本外国語専門学校日本語科),他 1 名
	アクティブラーニングとしてのグループ活動—外国旅行者向け旅行企画の作成を通して— 佐伯香奈(新宿日本語学校),他 1 名
	「語りを聴く」—物語と対話の有機的な連携による教師研修— 萩原秀樹(インターカルト日本語学校),他 3 名
	ARCS 動機づけモデルを用いた上級ディスカッション授業の振り返り 立和名房子(大阪 YMCA 学院)
	日本語学習リソースの使用状況調査—日本語学校を対象に— 渋谷博子(東京外国語大学世界言語社会教育センター),他 1 名
	留学生対象 日本文化理解向上プログラム—外国人に対する情報伝達訓練を受けた同年代日本人学生と学ぶ— 曾根洋明(公立大学法人宮城大学国際交流・留学生センター)
	JF 日本語教育スタンダード準拠コースブック『まるごと 日本のことばと文化』データベース「ごとまるくん」の概要とその活用法 岩下智美 (無所属/元クアラルンプール日本文化センター)
新日本語歌はじめ(改訂版)+<<別腹>> 西川格(LIBERTY 小田原日本語学校)	
14:00~16:00	パネルセッション「日本語教員の質・量を考える」 石澤徹(東京外国語大学 大学院国際日本学研究院 講師) 坂井訓久((株)凡人社 営業部長) 西川寛之(明海大学 外国語学部日本語学科 講師) 増田麻美子(文化庁文化部国語科 日本語教育専門職) モデレーター 奥田純子(コミュニケーション学院 学院長)
16:15~17:30	日本留学 AWARDS 表彰式

17:45～ 交流会

カルチャー棟 2F レストランとき

2日目のみ参加の方は、101室前の受付(9:30～開始)にお越しください。
1日目に受付がお済みの方は、直接各会場へお越しください。

大会 2 日目 8 月 24 日(水)

センター棟

10:00～12:30	分科会Ⅰ 「日本語教員の資質能力と日本語教育能力検定試験 -日本語学校現場におけるキャリア形成を考える-」 川端一博(日本国際教育支援協会日本語試験センター)	101 室
	分科会Ⅱ 「実践共有を通じた学びあい・その方法 4 「読む」を楽しむ-初中級からの読解力育成-」 栗野真紀子(NPO 多言語多読),(公財)京都日本語教育センター京都日本語学校	102 室
	分科会Ⅲ 「日振協スタンダードの活用事例とその評価」 (学)石川学園横浜デザイン学院,新宿日本語学校	309 室
	分科会Ⅳ 「情報セキュリティ対策入門 -知ってるつもりが一番こわい! -」 (独)情報処理推進機構	310 室

昼休憩 12:30～14:00

特別セッション

14:00～16:15	日本語教育を学ぶ大学生・院生と日本語学校教員の意見交換会 -日本語学校に就職する?-	309 室
	新告示基準で義務化された自己点検・自己評価について -信頼される日本語学校づくりのために- 山口修(京都文化日本語学校),インターカルト日本語学校,カイ日本語スクール	310 室

自由研究発表

14:00～14:35	言語習得の側面から捉えた Information Transfer 授業の実践 -初中級におけるノート ティキング準備のカリキュラムの一案-	101 室
	黒崎亜美(ラボ日本語教育研修所)他 1 名	
14:50～15:25	学外との協力による日本語授業の展開 -集中 コースにおける文化・芸術クラスの実践を通して-	102 室
	糠野永未子((公財)京都日本語教育センター京都日本語学校),他 1 名	
14:50～15:25	はねる、とぶ 筆ペンを使った漢字学習法 宮岡余里子(クリエイティブ エデュケーション),平岡憲人(清風情報工科学院日本語科)	101 室
15:40～16:15	タブレット端末(iPad)学内全面導入実践報告-大変だったこと、良かったこと- 中村和弘(カイ日本語スクール),他 2 名	101 室

16:15 終了

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。御了承下さい。